



写真:ニホンザル (撮影:廣澤順也 平成27年12月17日)

「ニホンザル」

霧島山麓では時折、単独で行動するニホンザルのオスや小群の目撃情報があります。

平成28年は申年さるです。日本固有種のニホンザルは本州、四国、九州に生息しています。サルの仲間には、熱帯地方に暮らすものがほとんどですが、ニホンザルは青森県の下北半島まで生息しています。これは、世界で最も北に暮らすサルです。体毛は茶褐色から灰褐色で顔とお尻には毛がなく、赤く目立ちます。雑食性で果物や木の葉など植物のほか、昆虫やカニ、野鳥などを食べます。串間市の幸島は、ニホンザルの生息地として国の天然記念物に指定されています。霧島山にもニホンザルはいますが、数は少なく、えびの高原ではほとんど姿を見ることはありません。山麓では時折、単独で行動するオスザルや小群の目撃情報があります。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ニホンザル
Macaca fuscata

霊長目オナガザル科